

事故を決して忘れず、安全を誓う集い

2018年4月25日 基調講演

「鉄道安全考動計画2022の実践と安全の確立への期待」



公益財団法人大原記念労働科学研究所・所長

酒井一博氏

はじめに

「鉄道産業のミッション」

あの大事故（JR西日本福知山線列車脱線事故）から13年目を迎え、この講演の依頼を受けても一度資料を洗い直し、整理をする中で、大変参考になった書物に、松本創氏の「軌道」があります。私は、この事故を一人の遺族の側から見つめてきたと作者が書いておられ、300ページを超える大きな本ではありますが、読み応えがありました。先にご紹介させていただきます。

早速ですが、鉄道産業とは何かということを考えてみます。

基本的には、「人と物を運ぶ」という仕事と、線路や信号といった「設備とシステムを作り、それを守っていく」仕事があると思います。

「人と物を運ぶ」仕事は、金をとって乗客を運ぶということですが、乗客の安全を守ることが最も重要なミッションでもあります。

その乗客という人を安全に運ぶためにも、運転士や車掌など、乗客を「運ぶ人」の安全を守るということも仕事の中で大事なことです。

JR WEST
西労組
UNION
ニュース

No.2
(通算)No.524
2018.8.9
JR西労組ホームページ
(http://www.jrw-union.gr.jp)

西日本旅客鉄道労働組合
本部/〒530 0012 大阪市北区芝田二丁目一番十八号
TEL JNT(0)6(6)7519869(代)
TEL JR(大阪)07-7155317
FAX JNT(大阪)07-7155314
FAX JR(大阪)07-7155313
●発行責任者/宮 野山
●編集責任者/宮 勇市
馬朗

【講師略歴】

大原記念労働科学研究所・所長(研究主幹)
酒井一博氏

1973年3月	早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了
1973年4月	労働科学研究所 入所、 労働生理心理学研究部研究員 主任研究員
1985年10月	同
1999年9月	同 常務理事・所長
2001年9月	同 常務理事・研究主幹
2007年9月	同 常務理事・所長、研究主幹 現在に至る

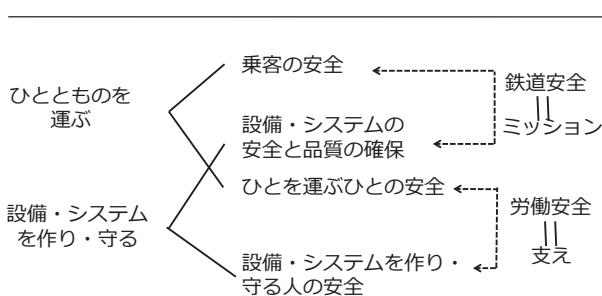
《主な研究課題》

産業安全保険エキスパート養成コースを主宰、夜勤・長時間勤務者の過労と勤務改善、人間工学手法によるリスクアセスメントと職場改善の実践

《所属学会》

日本人間工学会 理事、産業保健人間工学会 理事、産業組織心理学会 など

鉄道産業のミッション



鉄道安全と労働安全の両立